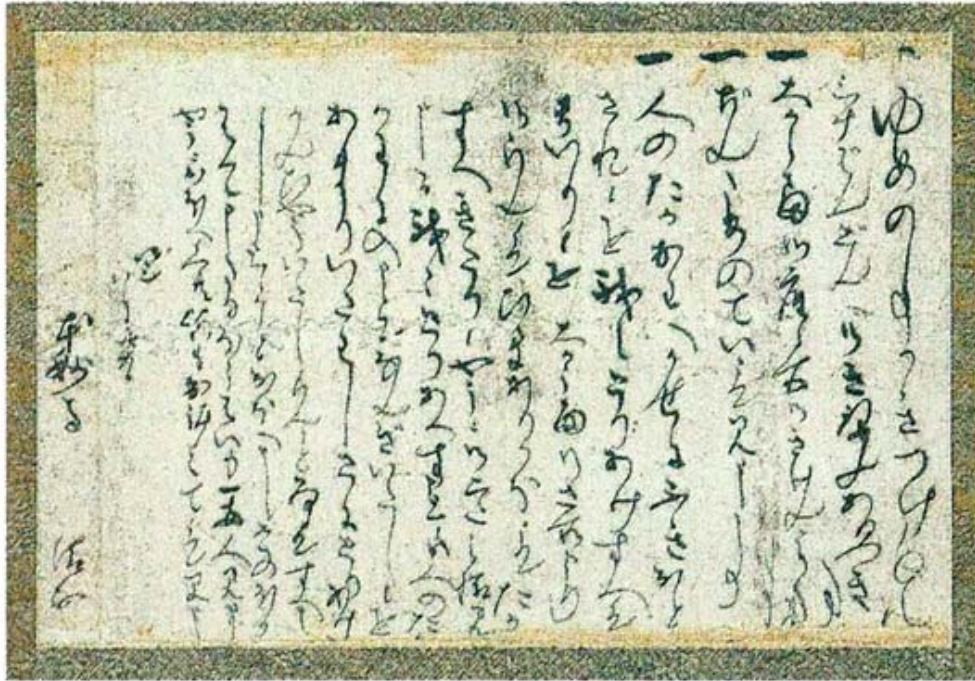


加藤清正の菩提寺、本妙寺に眠る文化遺産を紹介する「清正公400年遠忌記念 加藤清正と本妙寺の至宝展」が15日、熊本市の鶴屋百貨店東館7階ホ

ールで開かれる。所蔵品約1300点の中から古文書や武具、工芸品など約80点を並べる。展示品を5回にわたり紹介する。

加藤清正自筆書状

(縦紙・掛幅装、27.6×41.6㍍、江戸時代初期=17世紀)



秀吉を夢にまで見た清正

加藤清正に関する資料は多く現存しているが、清正自身が書いた書状は極めて少ない。なかでも「ゆめの事」で始まるこの書状は、清正の実像がわかる最も有名な資料だ。清正が夢で見た内容を、本妙寺開山の日真に伝え、「三十番神」(法華守護の神々)への祈祷を依頼するもの。

また、この書状から日真が清正の祈祷僧という役割を担っていたこともわかり、初期の本妙寺の性格を知ることができる。(熊本日韓文化交流研究会・鳥津亮二)

15日、21日 鶴屋東館7階ホール

主催 加藤清正公と本妙寺の至宝展実行委員会(本妙寺、加藤清正と本妙寺の文化遺産を守る会、熊本日新聞社、鶴屋百貨店)

観覧料 一般500円、高校生以下無料

2010.9.10